

履歴：(昨年度との違いや、科目コード情報についても記載しています)

Word 版では部内の覚えとして、次の項目を文書の後ろにつけます。(PDF 版ではつけません)

- [シラバスコード](#) (シラバス記入教員コード)
- [各科目の英語名とコード表](#) (Subjects in English)
- 専門科目のカリキュラム表 (学生便覧用, 従来の書き方を重視しながら小改善した表)
- 専門科目のカリキュラム表 (従来の書き方をそのまま引き継いだ表)
- 白紙のシラバス

履歴： 国立沼津工業高等専門学校 電気電子工学科平成 24 年度 シラバス

従来のものとの大きな違いや、ID と単位について：

- ・ 平成 21 年度と平成 22 年度の間で大きく変更された E 科専門科目は次の通り：
 - 「E3 プログラミング」⇒閉講 (平成 21 年度から E2 にて実施)
 - 「E4CAD & 回路シミュレーション」⇒閉講 (平成 21 年度から E3 にて実施)
 - 「E5 シミュレーション工学」⇒閉講 (平成 21 年度から「E4 工業英語 I」を実施)
 - 「E5 工業英語 (必修)」⇒「E5 工業英語 II (選択)」となった。
 - 「E5 オプトエレクトロニクス」⇒閉講 (平成 21 年度から「E4 エレクトロニクスセミナー (産業特別実施の際は開講しない)」を実施)この変更と時を同じくして学際科目が「全学で実施する専門科目」として導入されたため、受講できる科目数はほとんど変わりません
- ・ Subject ID の 9 桁のうち、最初の 3 桁は年度と学期を、後ろの 6 桁は科目を示す。
例：Sub-132203350 →Sub・(年度) 2013 (通年) 2 (通信工学) 203350
- ・ 「学修単位」は一時期「大学単位」と呼ばれたものである。「履修単位」は一時期「高専単位」と呼ばれたものである。

修正の記録

- ・ 2013.4.2 語句修正
- ・ 2013.3.30 平成 25 年度版の最初のバージョン完成 (科内番号 ver01)